

記者会見

新旧交替の挨拶

通常総会・理事会を終え、新任と退任の代表幹事および副代表幹事が記者会見に臨んだ。小林喜光新代表幹事は記者らの質問に答え、すべての課題に尽力する意気込みを示した。



記者会見ではまず、退任した長谷川閑史代表幹事と前原金一副代表幹事・専務理事を含む5名の副代表幹事、そして新任の小林喜光代表幹事と横尾敬介副代表幹事・専務理事を含む5名の副代表幹事が挨拶した。続いて小林新代表幹事が記者らの質問に答えた。

新代表幹事が掲げる「持続可能な社会」に向けて、日本が抱えるさまざまな政策課題の優先順位については、「プライオリティは付けられない。すべてが

重要課題」と述べた。「経済のみならず、社会の継続が従来通りの考え方ではなくなったことを認識した上で、ものづくりも大事だが、バーチャルな世界をとらえて議論を深めるべきだ」と主張した。特に、就任挨拶でも述べた「GDPに変わる指標が必要」という認識をあらためて示した。さらに、サステナビリティの観点においても「財政再建は絶対にやらなくてはならない」と強調した。エネルギー問題に関しては、「安

全性を前提に環境やコスト、安定供給を考えなければならないが、すべてを最適化することが難しい」としながらも、「2100年には気温が5度上がる可能性があり、対策をとっても2度の上昇は避けられないと言われている。このような状況では、世界は成り立たない。さまざまな多変数をいかに最適化するかが課題である」とした。「経済同友会のあらゆる専門家を横串に刺し、全体として意義のある訴え方ができるかが重要である」と述べた。

退任 挨拶

(役職は4月27日現在)



前原金一



柏木 斉



橘・フクシマ・咲江



藤森 義明



岡本 國衛

●前原金一

経済同友会 副代表幹事・専務理事

過去の経済同友会の歴史にはなかったような五年間だった。本会全体として、東日本大震災後の東北復興にかなりのエネルギーを使ったと同時に、たくさんの感動をいただいた。支援を続けてきた専門高校で新しい校舎が完成するなど、最近では復興の兆しははっきりと見えてきた。皆さまの支援を大変ありがたく思う。

●柏木 斉

リクルートホールディングス 相談役

地方分権を主に担当し、日本の再生には地方の持つ潜在力を活かした自立が不可欠であると、提言してきた。また長谷川前代表幹事の掲げた「行動する経済同友会」を実践し、代表幹事と共に知事、市長、各地経済同友会と地域の活性化について意見交換したことが大変思い出深い。今年度から政府の地方創生が本格化する中、意欲ある自

治体が自ら動き出すことに期待したい。

●橘・フクシマ・咲江

G&S Global Advisors Inc. 取締役社長

当初三年間は、女性、外国籍人材といった人材のダイバーシティ促進を、四年目はそういった多様な人材が生産性の高い仕事に従事できる新しい働き方を検討した。2012年に女性登用の経営者の行動戦略を発表し、この四年間充実した活動をさせていただいた。こだわりを持って「人材」ではなく「人財」、

「適材適所」ではなく「適所適財」など、非常に自由闊達な議論を許してくれた経済同友会の皆さんのおかげだ。

●藤森義明

LIXILグループ 取締役代表執行役社長兼CEO

副代表幹事は退任するが、今後も経済連携委員会委員長として、成果が出

るまで頑張りたい。引き続きTPP協定の早期締結、他地域との経済連携の積極的な展開、そしてグローバリゼーションを推進していきたい。

●岡本罔衛

日本生命保険 取締役会長

経済同友会ではさまざまな意見を交

わし、時に議論で対立するという場面もたくさんある中で、私自身も多くの勉強をさせていただいた。財政・税制改革委員会には日本の将来を憂う委員が多く、議論を重ねた結果、財政再建に向けた提言を出すことができた。これが大きな収穫であった。

新任 挨拶

(役職は4月27日現在)



朝田照男



小林いずみ



隅修三



馬田一



横尾敬介

●朝田照男

丸紅 取締役会長

昨年から環境・エネルギー委員会委員長を務めている。これまでうたってきた縮原発をさらに掘り下げ、原発はどうあるべきかを踏まえて、将来的なエネルギー計画に対し、先だって提言をまとめた。今後もさらにエネルギーミックスの実現、使い勝手の良い再生可能エネルギー、さらなる新エネルギーの導入等に向けて活動していきたい。

●小林いずみ

ANAホールディングス、サントリーホールディングス、三井物産 社外取締役

2007年度より一期二年、副代表幹事を務めたが、それ以降、日本社会も経済もだいぶ変わった。海外から日本が変化していく様子を見て、これからは、

日本がグローバル社会に、どのようなメッセージを発信していくかが大変重要だと感じた。米州委員会委員長として貢献していきたい。

●隅修三

東京海上日動火災保険 取締役会長

今年度から地方創生委員会委員長を務める。私は田舎から東京に出てきた一人だが、この国を心豊かな国にするためにも、地方が元気で、活力がなければならぬ。今、国や地方自治体が盛んに地方創生の取り組みを開始しているが、われわれ民間では何ができるのか、何をしなければならないのかを考え、実行、実現につなげていきたい。

●馬田一

JFEホールディングス 取締役

3月で社長を退任したことに伴い、4月から自由な時間が増えてきた。これを機に、日本の将来あるいは、若い世代、そしてその次の世代がきちんとやっていける国にするにはどうしたらいいかを考えていきたい。

●横尾敬介(専務理事兼任)

みずほ証券 常任顧問

日本の歴史を振り返ると、国のあり方が変わるという節目が何度かあった。直近は第二次世界大戦。戦後70年たち、まさに今、日本が変わる時、また変えなければならない時だと個人的には感じている。日本の将来と社会像を考え、意見を発信し、かつ行動を実践できればと思う。

会員懇談会



通常総会終了後、会員懇談会を開催した。政界・官界・各国大使館などから多数の来賓を迎え、出席者は約700名に上り盛会となった。長谷川前代表幹事をねぎらうとともに、小林代表幹事の新しい船出を祝った。

